

「ルース・マリー・ジャーマン氏 講演会」を開催しました（観光・サービス部会）

観光・サービス部会（部会長＝中谷 忠宏（㈱旭広告社 代表取締役社長））では、6月28日（水）、129名の参加を得て、観光・サービス部会が主催する「横浜観光人材塾」と合同で横浜シンポジアにて講演会を開催した。

講演会では、訪日外国人旅行者数が過去最高の2,403万人となる中、横浜を訪れる国内外の観光客をもてなす術を学ぶため、1988年に㈱リクルートへ入社して以来、28年間に亘り日本に滞在し、メディア、テレビ等で活躍しているハワイ育ちの㈱ジャーマン・インターナショナル 代表取締役社長 ルース・マリー・ジャーマン 氏を講師に迎え、「世界に誇れる観光大国をめざして」と題して講演が行われた。

講演の中でルース氏は、外国人から見た日本のグローバル化の現状について、来日した当時より日本に特化したニュースサイトなど、外国人のためのインフラが充実してきた。

ハワイが第一次産業中心から観光大国へ変貌を遂げる様子を間近で見てきた経験から、日本とハワイの観光産業発展の推移には共通点が多数あることを指摘し、今後は訪日外国人観光客を増加させることに加え、消費額単価の向上に力を入れていくことが、観光産業の発展を加速させると予測した。

また、日本人がグローバル化と向き合うための心構えとして、思いやり・信頼関係を大切にするなどの誇るべき日本人の価値観について具体例を交えながら説明した上で、日本人に必要なことは価値観を変えるのではなく、持っているその価値観を外国人に説明する力であり、英語が苦手だからと躊躇することなく積極的に会話をするのが、日本のファンを増やすために最も重要であるとの思いを語った。



講演を行うルース・マリー・ジャーマン氏



熱心に聴講する参加者